

コード	204010108
記入日	H24.5.14

課コード	114
課名	水道課
課長名	吉本 佳文
担当者	坪井 孝一

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	新魚目南部地区簡易水道改良事業
----------	-----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	1
施策コード	204	施策名称	暮らしを支える水道の整備	項コード	3
基本事業コード	20401	基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進	目コード	1
事務事業コード	2040101	事務事業名称	簡易水道特別会計事業費	細目コード	特別会計
関連計画	法令・条例規則等				

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 水道使用者口新魚目南部地区	(対象2)	(対象指標1) 3,612人	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
源循環装置及び取水装置設置工 1.0式	導水管布設工 4,442.6m	事業進捗率	677,934千円	81.3%	実績事業費÷ 全体計画事業費	平成24年度
導水ポンプ設備工 4台	調整池及び配水池築造工 1.0式	事業進捗率	165,946千円	100%		平成23年度
ポンプ操作室改修 1.0式	調整池及び配水池築造工 1.0式	① (達成率分析) 計画どおり進捗している。				
導水ポンプ井築造 1.0式	ポンプ操作室改修 1.0式	② (達成率分析)				
緩速ろ過池附属配管替 1.0式	緩速ろ過池附属配管替 1.0式	③ (達成率分析)				
滅菌設備 1.0式	滅菌設備 1.0式	④ (達成率分析)				
調整池及び配水池附属配管買 1.0式	調整池及び配水池附属配管買 1.0式	⑤ (達成率分析)				
送水管布設替工 5,043.7m	送水管布設替工 5,043.7m	⑥ (達成率分析)				
配水管布設替工 17,956m	配水管布設替工 17,956m	⑦ (達成率分析)				
電気計装設備工 1.0式	電気計装設備工 1.0式	⑧ (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・新魚目南部地区の老朽化した浄水施設を休止して、浄水場を2系列とし大幅な経費の節減と管理の軽減を図る。老朽設備及び老朽管を改良し有収率向上と更なる安定給水を図る。また、水源についても水質改善を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		有収率	84.3%	93.7%	有収率実績÷ 目標有収率	平成24年度
		有収率	86.6%	96.2%		平成23年度
		① (達成率分析) 平成23年度については、送水・配水管の布設替を実施した。布設替区間の漏水減が見込まれる。				
		② (達成率分析)				
		③ (達成率分析)				
		④ (達成率分析)				
		⑤ (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	%	100	81.3	61.4	20.0	19.9	18.7			
	②										
成果指標	①	%	90	84.3	82.0	90.0	86.6	90.0			
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	851,818	691,944	522,498	169,500	169,446	159,820				
直接事業費 A	千円	834,318	677,944	511,998	166,000	165,946	156,320				
人件費 B	千円	17,500	14,000	10,500	3,500	3,500	3,500				
内訳	従事職員数	人	2.5	2.0	1.5	0.5	0.5	0.5			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円	400,000	330,000	250,000	80,000	80,000	70,000			
	県補助金	千円									
	起債	千円	414,600	341,700	255,900	80,000	85,800	78,700			
	その他	千円									
一般財源	千円	37,218	20,244	16,598	9,500	3,646	11,120				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	水道水の安定供給は不変的なものであり、当然行うべきものである。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	老朽施設更新により改良区間の有収率向上等が図られ、一層の安定供給が確保される。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	随時計画の見直しを行い進捗しているため、向上させる余地はない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	単一事業であり、事業を推進するうえで適切である。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっているためできない。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	現在のところ、計画を大幅に見直す必要はない。
	今後、課題に向けた改善策	最小の経費で最大の効果が得られるよう、随時計画実施の効果を検証し、計画に反映させる。

2 次 評 価	安定的な水道の供給に向け、計画どおり事業を実施すること。
------------------	------------------------------

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。